

妙高・三田原山スキーツアー

2012. 1. 8(曇り)

メンバー: 菊地

杉野原スキー場トップから三田原山を目指す。去年の同時期に比べると比較にならない程積雪は多そう。いつものごとく二度寝で遅いスタートだったので、既に大勢が斜面に取付き、膝下の立派なトレースが出来ていて楽をさせてもらう。昨夜、降雪はあったがたいした事無かった様子で昨日の物と思われるシュプールが残っていた。

どんどん先行者を追い抜き、稜線に出た時は先頭集団に追いついていた。釜内に滑り込む人は少なく、見る限り2人が標高差50m程滑り込んだ所から登り返して居たぐらいで殆どノートラック状態。しめしめとエントリーすると、底はあるが滑っている時は底付き感無く、久々の浮遊感を味わう。今回は単独で他に降りて来る人も居なそうなので登りのラッセルは覚悟しなくてはならないが誘惑には勝てず底まで行ってしまう。雪は深いがウォークモード付きビンディングに助けられ、満足感に浸りながら稜線に登り返す。既に南斜面にはかなりの人が入ってる筈だが、運良くほぼノートラックバーンが続く、流石に釜内に比べると雪質は劣るが贅沢も言ってもらえない。

1600m辺りで目の前にボーダーが現れ直滑降で降りて行くと思ったが、良く見たらカモ

シカで、脚は終始雪の中で腹を擦りながらの移動は大変そう。まさかボーダーと鹿を見間違え、思わず笑ってしまったが無駄な体力を使わせてしまった。その後、緩やかな樹林帯に入り、ネイチャースキー気分が脇見滑走しているとウサギとキジにも会い驚かせてしまったが、やたらと動物に会う日だった。

今回は釜内も滑ったが、スキー場付近で林道に合流したので、殆ど歩かずに13時位にはスキー場に合流出来たが、南斜面滑走だけだったらお手軽過ぎて、物足りなさを感じていただろう。

地形図: 妙高山

コースタイム:

杉野原スキー場1850m 9:55～三田原山
稜線 10:45・11:00～大正池 11:10・11:30～三田原稜線 12:00・12:15～スキー場 13:00

